

One Point Wall のスパイウェアルールについて

■ はじめに

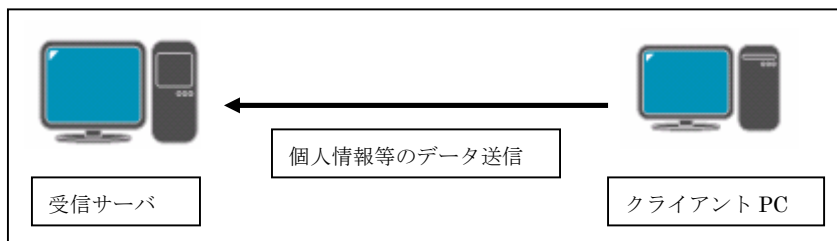
近年、スパイウェアによる情報漏えいが急増し、被害内容も深刻化しています。
一例として、2006年7月にはインターネットバンキングを利用している顧客に、スパイウェア付きの電子メールを送信し、口座番号やパスワードを盗み出して、預金を別の口座に不正に振り込むという事件が発生しています。

また、2006年11月には「セキュリティ強化」のためなどと説明したロゴ等の入ったCD-ROMを法人インターネットバンキング利用事業者に送り、インストールした結果、預金口座から身に覚えのない振り込みがなされたという事件が発生しています。

この度、One Point Wall がスパイウェアに対応したことにより、簡単導入・高機能なスパイウェア対策が実現しました。

■ スパイウェアとは—スパイウェアの概要

スパイウェアの場合は、ウイルスのように感染や破壊活動を行うことが、あまりありません。主に個人情報の収集に用いられます。下図のように、クライアントPC内の個人情報やアクセス履歴などを収集し、受信サーバに収集したデータを送信します。



- その定義は、
「利用者の意図に反してインストールされ、利用者の個人情報やアクセス履歴などを収集するプログラム」となります。
- 以下の様な経路で侵入します。
 - ・ Web からの安易なフリーソフトウェアやシェアウェアのダウンロードやインストール
 - ・ 不正な Web ページの閲覧
 - ・ スпамメールに示されたリンクのクリックにより不正な Web ページに導かれて侵入
 - ・ メールに添付されたウイルスファイルを実行する
 - ・ ファイル交換(P2P)ソフトの利用

■ スパイウェアへの対策について

スパイウェアの被害を予防するためには、以下の様な方法が一般的です。

● ネットワーク型

利用者の個人情報やアクセス履歴などのデータ送信をブロックする

● 端末型

スパイウェア対策ソフトを利用し、定期的な定義ファイルの更新および検査を行う

■ スパイウェアのカテゴリについて

スパイウェアは以下のような種類に分類されています。

● ダイヤラー

ダイヤルアップの設定を変更してしまうソフトウェア

● データマイナー

エンドユーザに関する情報を収集する目的のソフトウェア

● アドウェア

プログラムの実行中に広告を表示するソフトウェア

■ One Point Wall のスパイウェアールの特徴

One Point Wall のスパイウェアールは、スパイウェアによる下記の行為をネットワーク上で、検知・遮断します。(ネットワーク型)

「個人情報やアクセス履歴等の収集」

「他のサーバへの個人情報やアクセス履歴等のデータ送信」

※ ダイヤラー、データ送信を行わないもの、配布終了(サービス終了)のものは One Point Wall のスパイウェアールでは対応していません。

[特徴]

- ☆ ネットワーク上で対応することにより、クライアント PC にアンチウイルスソフト アンチスパイソフトを導入するコストを削減出来ます。
- ☆ アンチウイルスベンダー、アンチスパイウェアベンダーが対応していないスパイ通信を発生させるソフトウェア [Real Player スパイ通信, CnsM n(JWord) スパイ通信]に対応しています。
- ☆ ユーザに意図せず、データ送信を行うソフトウェアに対応しています。

他のソフトウェアと One Point Wall とのスパイウェア対応状況の比較

順位	スパイウェア名称	One Point Wall	A 社対策ソフト	B 社対策ソフト
1	CnsM n (JWord)	○	×	×
2	Alexa Toolbar	○	○	○
3	Gator	○	○	○
4	Bonzi Buddy *1	×	○	○
5	Internet Optimizer	○	○	○
6	CoolWebSearch *2	×	○	○
7	ISTbar	○	○	○
8	NetVision *3	×	○	○
9	BHO. NovoPops	○	○	○
10	WhenU- UControl	○	○	○
	Real Player スパイ通信	○	×	×

スパイウェアガイド(http://www.shareedge.com/spywareguide/detecton_analyze.php)

にあるスパイウェア検出頻度分析より検出数の多い順に抜粋

*1 サービス終了 *2 バイナリファイルなし *3 ダイヤラー

上記トップ 10 以外の One Point Wall で対応しているスパイウェア

- Gator
- Cydoor
- WinFixer
- 180 Search Assistant
- ShopAtHomeSelect
- SaveNow
- Sifind
- Zango
- WinAntiVirus
- WhenU-SaveNow
- HotBar
- SystemDoctor 2006
- SearchingAll

■ One Point Wall のスパイウェアルールの制限事項

One Point Wall のスパイウェアールには、以下の様な制限事項があります。

● ダイヤラーには対応いたしません

ダイヤラーはダイヤルアップの設定を変更し、モデム経由でインターネットへの接続を行います。

One Point Wall はモデム経由での通信に対応していないため、スパイウェアールでは対応いたしません。

該当スパイウェア：NetVision

● サービスが終了し、データ受信サーバがないものには対応いたしません

スパイウェア提供元のサービス終了にともない、利用者の個人情報やアクセス履歴などのデータを受信するサーバが廃止されているため、スパイウェアールでは対応いたしません。

該当スパイウェア：Bonzi Buddy

● データの送信を行わないタイプのものには対応いたしません

データの送信を行わないタイプのはスパイウェアールでは対応いたしません(ルール作成が行えません)。

該当スパイウェア：トップ 10 中にはなし

● 配布終了およびバイナリが見つからないものには対応いたしません

送信データが把握出来ず、ルール作成および検証が行えないため、スパイウェアールでは対応いたしません。

該当スパイウェア：CoolWebSearch

『スパイウェアール』に関するお問い合わせ

TEL : 03-5625-1244

mailto : opw-support@netagent.co.jp